

第106回実験実習支援センターテクニカルセミナー



高速共焦点システムDragonflyの可能性について

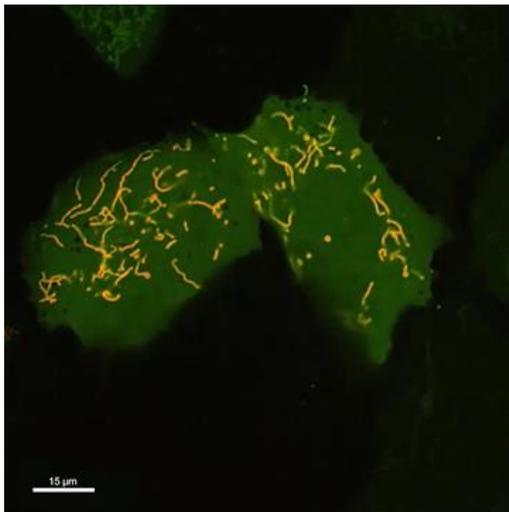
日時: 2018年12月7日(金) 15:00~16:00

場所: 基礎研究棟2階 教職員ロビー

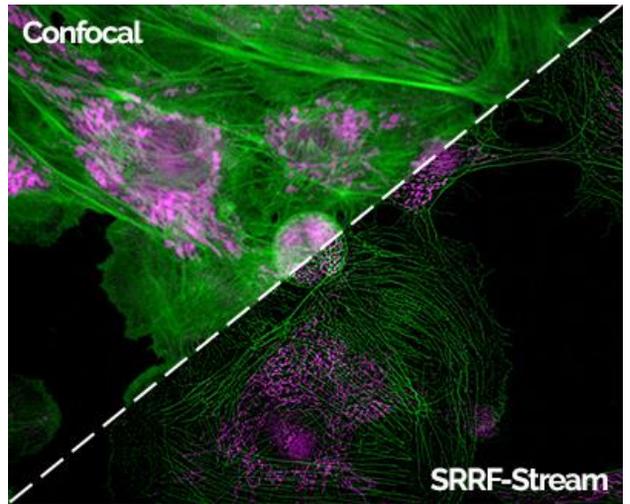
演者: アンドール・テクノロジーLtd

概要

生細胞の蛍光イメージングを行うにあたり、顕微鏡システムには高速性、解像度、感度、広視野、多波長といった様々な性能が要求されます。Dragonflyはこれら全てのニーズを満たすべく開発されたイメージングプラットフォームであり、長時間撮影、広範囲撮影、3Dイメージング、1分子蛍光観察、高速撮影、超解像イメージングなど、1台で様々なアプリケーションニーズへの対応が可能です。検出には高感度EMCCDカメラやsCMOSカメラをご使用いただければ、光毒性を最小限に抑えつつ、微弱な蛍光も取り逃しません。また新設計のディスクと光学系を採用することで、照明の均一性や効率性、シグナルのSN比を向上させています。本セミナーでは、Dragonflyの様々な活用方法についてご紹介させていただきます。



ミトコンドリアのタイムラプス撮影



SRRF-Streamによる超解像イメージング



- ✓ 共焦点モードで400fps
- ✓ レーザーWidefield
- ✓ 同時2色TIRF
- ✓ 均一化照明 (Borealis)
- ✓ GPUデコンボリューション
- ✓ 超解像SRRF-Stream